

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

2017年ユニオン旗開き開催

未来



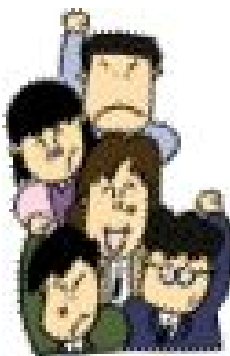
全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3721
17年1月17日(火)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。
郵政ユニオン長崎中郵支部は1月14日(土)18時30分より地区労会館で旗開きを開催しました。

組合員はもとより、家族や退職者、地域の仲間など40名を超える参加で大いに盛り上がりました。
会は、御手洗青年部長の司会でスタートしました。主催者挨拶は中執会議参加の為、遅れて参加した高口支部長に変わり、向井副支部長が主催者挨拶を行いました。
来賓挨拶では、地区労より加世田書記長、県労連より鳥巢事務局長、九州労働金庫長崎支店より石支店長、被爆者手帳友の会井原会長、ユニオン支援共闘会議より小杉副代表の5名の方にご挨拶を頂きました。



我々の旗開きは、飲食物を会場に持ち込んで準備から後片付けまで、すべて自分達で行う形をとっています。



した。また、坂本浩典議と、井原会長よりお祝いのお酒を頂きました。
続いて、原田執行委員の「今春闘も団結して頑張りましょう」の乾杯の掛け声のもと、歓談へと移りました。

今回の料理の準備にあたり、執行部で対策会議を開き、みんなで議論した結果、昨年以上の美味しい料理を準備することができました。また、開催日は土曜日でしたが、勤務の組合員が多く、退職者の方々にも色々と協力してもらいました。準備は大変ですが、みんなで協力して一つの事を成し遂げるといふ事は、我々ユニオンの力にもなります。

会の途中では、中執会議を終え東京から戻ったばかりの高口支部長も合流、支部、分会報告、そして退職者の近況報告、地域の仲間の活動報告が紹介されました。

終盤にはジャンケン大会によるスイーツ争奪戦とくじによる和菓子のプレゼントがありました。
そして、最後は、高口支部長が参加者へのお礼と今年の決意を訴え2017年の旗開きを閉会しました。



新年の抱負

あけましておめでとうございませう。
ようやく昨年末からの年賀状配達の仕事も落ち着いてきました。皆さんが感じているように私も、「昨年より少ないみたいだな」と思っていました。

1月3日の長崎新聞の記事では、県内の元日配達は1745万通で昨年より約44万8千通少ないとの事でした。人々の年賀離れは着実に進んでおり、郵便屋としては不安を感じているスタートとなりまして。
2017年は、私たちが今



まで取り組んできた「均等待遇、同一労働同一賃金」において、節目の年となりそうです。
一つは、条件を満たし希望するものは、アソシエイト社員として有期雇用から無期雇用になります。
二つには、均等待遇を訴えた労働契約法20条裁判(郵政20条裁判)の行方が明らかになってきます。
三つには、政府の動きです。安倍政権が進める、同一労働同一賃金が郵政の職場にどう係わってくるのかです。
いずれにしても、納得がいかない、職場を良くしていきたいと思う個人個人の思いを行動に移すことから始まると思います。個々の声が集まれば世の中を変えることが出来ると思っています。今年も共に闘いましょう。(原田芳博)

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。